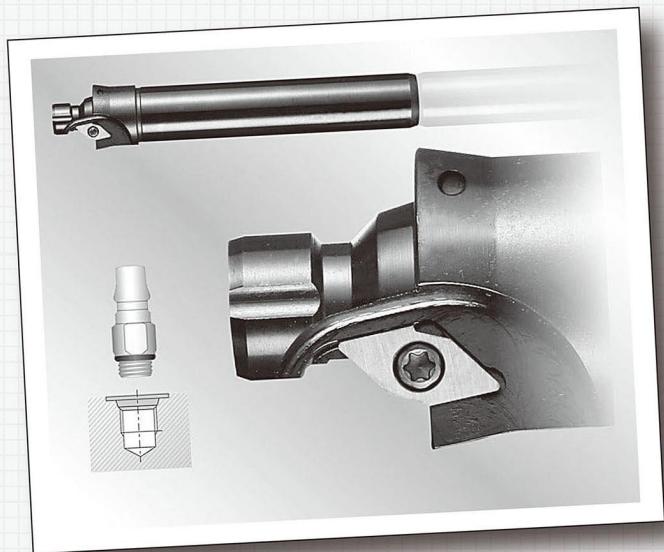


## 丸一切削工具

大阪府東大阪市本庄西2-6-17  
Tel. 06-6747-6086  
www.thecut.co.jp

## ■ PROFILE

1935年に創業した切削工具専門の商社。切削工具を設計、開発するメーカーでもある。国内の自社工場ですべての工具を製造する。



## ■ シート面カッター

## MSSCシリーズ

## | 製品ポイント |

- Point 1 工程集約が可能
- Point 2 刃先交換式で経済的
- Point 3 専用ゲージで簡単に精度判定

## 刃先交換式でも高精度加工

## ■ 高難度加工に答える

丸一切削工具(大阪府東大阪市、衣斐剛社長)は、切削工具専門の商社でありながら、メーカーとしての側面もあわせ持つ。20年ほど前にプライベートブランド「THE CUT(ザ・カット)」を立ち上げ、エンドミルやドリルをはじめとしたさまざまな工具を開発、製造する。

2013年にザ・カットのラインアップに加わったのが、油圧機器向けのシート面カッター「MSSCシリーズ」だ。シート面とは、容器や配管などを密閉する時に、異なる部品が接する面のことを指す。これまで建設機械などの油圧機器向けを中心に導入実績を積み重ねてきた。

MSSCシリーズは、油の漏れを防ぐために使われるOリングを取り付けるシート面の加工に向く。インサートチップの2面を使い、高効率

な面取り加工ができる。面取り加工のみのタイプの他に、あわせて座ぐり加工もできるタイプをラインアップし、工程集約に貢献する。「シート面は油圧を制御する重要な箇所、油が漏れないようにしないとイケない。面取りカッターで培ったノウハウを生かし、高精度な面取り加工を可能にした」とTHE CUT営業企画部営業推進課の喜多村智博次長は語る。

## ■ 精度判定も簡単に

MSSCシリーズの最大の特徴は、刃先交換式であること。高い加工精度が求められるシート面カッターは精度を担保するため、特殊成形工具などを使うのが一般的だ。「刃先交換式のシート面カッターは高い加工精度を出すのが非常に

難しい。調べた限り、数社程度しか製造していないほど製品化が難しい」と喜多村次長はいう。

特殊成形工具などは、刃が消耗したら再研磨をするため、工具管理や工程管理が課題であった。刃先交換式であれば、インサートチップを都度交換するだけで済む。工程を長時間止める必要がないことに加え、ランニングコストを抑えられて経済的だ。

Oリングシート面検査ゲージ「MSSC-GAG」も用意する。これまでシート面を検査するために3次元測定機が必要だったが、加工面にMSSC-GAGを入れるだけで精度判定ができる。(斉藤拓哉)

THE CUT営業企画部営業推進課  
喜多村 智博さん

「刃先交換式のため、刃が消耗しても交換するだけですぐ使えるようになります」

